偉大なる哉海軍

発型するのみである。 研募単難してたい認識の悪量

負八共刊夕朝

土座、海底に覆滅

米、第三海軍國 / 轉落

概工程

新倉長 藤原銀次郎著

香 路6判三○○資ж聚。價:同四十線・〒十四銭
一介の日金額の記言から身を
極之今日の大會財に後き上げた
藤原氏が部さ自叙博と人生観
変世観、事業製の書として百版
を突破しる。

國民教養新書

長官キンメル提督を罷免、後任に軍ロバー ト委員長のも とに十七日開ロバー ト委員長のも とに十七日開

後任にニミック提督

【東京電話】大本|〇方面に

務局長ウイリアム・ニミック操會、審理の結果太平洋艦隊司被委員會は大審院判事オーニング

空軍司令官も能免「アエノスノイン

督を命じた

隻を

八日午後四時) 營海軍部發表(十

伊福部隆彦著生活の書(入及)昭岡の土地では

印度物語心野性対影青春の日

伊福部隆彦著生活の閉拓 (千版) 昭の開六年第十四日 (千版) 日の 日本 (千版) 日の 日本 (千版) 日本 (千版) 日本 (千版) 日本 (千版) 日本 (千成) 日本 (千成) 日本 (千成) 日本 (十二年 (十二年 (十二年) 1) 日本 (十二年) 日本 (十年) 日本 (1

品物の面は本財へ無代数暑 振春東京五九七四八番 今日の問題社

隻を失ひたり 場逐艦一

號擊沈

図海軍は

作

『北京の東小葉田写著 價五圓五十錢送二 一百里五十錢送二

世 東 東 東 東 東 東 東 東

據に即して徹底的に究明したるものである。 價二 圓送十四

「最近の水本書である。「最近の水めに應ぜんとして出來上つたものが本書である。」「「最民の水めに應ぜんとして出來上つたものが本書である。」 ず、その明確な概念を把握してゐる者の案外少い今日、時局る。殊に個人主義とか全體主義とかを屢々口にするに拘はら つく全體主義の全貌を明 それは根本的には個人主

振替東京七三一一八番東京市神田區駿河臺三八六

オルニヤ型一隻、メリーランド型 巡二隻、給油艦一隻、大破(修理) 四機、右のほか撃破せるもの多興へたる損害銃爆撃により炎上 の寫眞偵察なごにより ーランド型 擊墜、炎上敵機四百六十四機 次、撃破艦艇に计復 ハライ海戦 綜合戦果判明

(修理可能ご認めちるもの) 戦艦一隻(ネバタ型一 敵航空兵力を全滅せしめたるこご判明せり、 確質ならずご愛表したる敵航空母艦は沈沒を免れ〇〇港内に蟄伏中なるこ のほか撃破せるもの多数、格納庫十 味方航空部隊の猛攻ご同 左の通りの綜合戦果を舉げ米太平洋艦隊ならびにハワイ方面度發表しありたるこころ攻撃貨施部隊の目撃ならびに攻撃後 型一隻、ネバタ型一隻)輕巡二隻、驅逐艦1 せしめたるものお 一隻を轟沈したるほか大なる戦果を擧げ は極めて困難なるもの)戦艦三隻(カリフ 一タ型一隻、艦型不詳一隻)甲巡または乙 撃沈戦艦五隻(カリフオルエヤ型一隻、 まそ四百五十機、撃墜せるもの十隻)乙巡四隻、敵陸海軍航空兵力に 海戦の

戦果に 破

銀特殊潜航艇部隊

警互をのわてリント 『老 ま・・・』 撃により撃沈された戦 體を切斷し瞬時にじて 一隻が魚脊蠖艦隊との決死的襲 及び爆彈に依り同標艦 隻はカル我が 海軍 航空 部隊と | アリゾナ型一隻も魚雷 | 修理不能

行場炎上

黒煙濛々天に冲す

荒鷲雲南に進攻





香港英軍

頑迷に拒絕

勸降狀

が戦闘機三機は果敢にも

金體主義

治安體制者は重果



海鷲マニラ南郊ニコルス飛行場猛爆(十日)×印は

在第四二八百五十十二年 大阪市道路石田 祖 角田 正直 鐵十六 價定 **號午**於

東東智振 社本日之業質 獨京京鬼 青年より若き女性へ(三層) 元代の女性に望む

| The state of t

六東型建設工作も

政府、諸施策に萬全を期す

濠洲兵救援派遣論

會長に伊藤文吉男

P諸國陣容建直しに 狂奔

阿格 到科 面科 期料 集章 海東 科斯 科斯 科斯 物學物學物學物學 話 物成 高 話篇 物學

海獸小自戰

Ø)

驗

中島蘭三覇 今村寅七曲 法债

オ物ンロ

ヴィクトリヤーポイント占領

座派命知識人の立場

程川龍次郎 三枝 博香·中島健藏

禭

野

晃

· 若 東 京 三 四

公

TI

法師

0

登録を實施

便能臨々長となり、英文共同第一と見られる「観事物硬ととも直と振道英軍部」。単行動の指揮に潜つてなる。

重慶駐剳英大使館から發表

生產力擴充に

電源開發が必要

空路バグダツドへ…… 南 強力政治への要望…… 衆 強力政治への等望…… 衆 **へ……市河彦太郎** 岩淵 辰雄

・危機の 強 徳…… 河上徹大郎 ・危機と 青春…… 河上徹大郎 ・危機と 青春…… 東田興重郎 ・危機と 青春…… 東田興重郎

傷る子供達 の 手 記

大百萬の生命を護りて大百萬の世別の歌州より、大百萬帝都用を知識の君はもの置り難した聖祖等者井口東海南土の生産社会を描いた。

開展を放子さんの 関ル間に解析・作用電子 動物に解析・作用電子 動物に対する。 為是 大量。 洋子

八〇陵

4 後民に強い力と正しい闘を吸へる滑物を、 響みやすく親しみやすい形式で、しかも出來 響る限り腹償で出版したでは、家庭に 等ではが陥るらゆる児童文庫に最も原宜なも のと信ずる。

へもだた

のの 業(Xissi) のの 基(Xissi) を (Xissi)

以下機

定價一〇〇錢 定價一〇〇錢 定價一〇〇錢 定價一〇〇錢

定價100種

は今だ、この状に沿ってたは第二者的態度を持する者があることは動じて許されない 度崩滅は元より紫暗の曲た、鎌りに連った半島二千四百萬紫國珠

一人々々が國土防衞の戰士だ

※はマイクから**獅子吼**

べた「富麗―誰る山灰さん」

われらが山本聯合艦隊司令長官

銃後に即興の狂句

二百二十一萬八千餘圓、合計三 英に闇取横行 服事験以來削伽のない巨額で 出たぞ!

全國金融協議會が献金

天晴れ街の電山署で二世

萬圓

迷ふな信じよ

、作品發表 李默等 医工工工 人名 医复数 医和十七年一

特債・十分(議解) 照路順点に出土権 婦女界小説 花暦 濱本浩・原設・原華南の島 屋の上の島 屋の上の場では、一次の一般では、一次の一般では、一次の一般では、一次の一般では、一次の一般では、一次の一般では、

学科語大学 (2012年) (2012年

泉を日本女性の新目標

医鸡科 医间上 人

京エミシン株式會社

鴛海醫院

動物題寫眞ある

一、撮影上の注意ニー米以

一、課題 勅題『連峰雲』 一、親語 勅題『連峰雲』 一、親語 勅題『連峰雲』

日本軍のマレー

(第三時輯)子供服実物大型紙コート・ブラウス・ジャンパー

戦況發表を中止 敗報にうろたへる英

赤十字社朝鮮本部 と執務、







日本の戦捷は獨逸の勝利 病むサウエル氏、南總督へ手紙で祝意

世萬圓の 食料品買占の一味檢學

九名三百十

腦溢血。 合昱

世帯行としてある。

詜 延 索 道長 ケ 所 粁 型贈錄呈

既總

大阪市東區全橋二丁目信銀ビル III 1585 2167 安全 索道 株式 會 社 :井物産共會社京城支店機械課

泉域附資金則-ノ大三原志本局 2/--三一市 安全東道株式會社朝鮮出張所 三井物華泉城支店最快通内 紫道の計畫・設計・見精・質菌省等物の領相談に殴り

五五三を逆轉

の意味をは

太平津艦隊全滅に莞嗣城大山家

戦金として復駆者と「総計は三百十三萬四千八百八十八十八十八日曜館者に三井」 じめ多数の戦金があな、との日の …陸軍の献金熾烈…

護婦生徒募

・稲岡・廣島

にない。

八高女二年修了首 日本横竿町 日本 音大台灣

談相·方貸·金預の料助扶·給恩

帝滿

特特

許許

三工作作

見迅積速

A. 1887

画学の全部がない。

大韶奉讀から

投票が四十年 亜酸こそ日本の連命。繋げた最後 聽們 野坂清成氏談

俄然府民の同情昂まる

今こそ、敵性粉碎

金漢奎氏が『大口献金』

聞いたか、地種氏

新作『白頭山節』ご披露

関じて他の追随を 許さぬ仁丹の眞價 番味は勿論ノ 高さて直ぐ その効率の わかつて頂



☆優良なる耐火煉丸─ ☆卓絶せる築爐技術=

婦產姙

容

美場はり上の 代

病性尿淡 科魔皮科外 性質 高 傷

軍進大のひ訳る跡を尾悼年本 會六長座歲萬墨 **多种的**

- 【四日ヨリ 各作週間

欠 比 映 顔 兄 とその妹

おもかげ

貸間

新 院城府梁務班 1 出于市北部 1 水 元 秦 1 ル 元 秦 1 ル

十六日一二十一日マデ ^[20] 原子 日の丸行進曲 建 足輕 女夫鏡 N N N N N N N

工化日上 7 文化映 畫 12:00 3,07 6,15 工梅二筋道 12:20 3,30 6,35 太醫の記錄 1,32 4,40 7,50

日案内

ロシャ人牧

及れ巷に散つた

バリカン戦士

迷はず頑張れ

「六億貯蓄達成運動」あと一週間

稻垣府總力課長談

本田 万萬坪平収機三百石 間の一端日で短頭で 短頭で が頭が 一般

家 む

清話

維件

12.01 3.20 6.30

1,34 4,52 8,12

電本一〇八四番

求貨事務所

特別等内部特別等内部特別等内部株式會別等人を認っている。

1七日より二十一日まで

日本ニュース 文化映画 新興京都作 千 両 役 著

松竹大船作 脂 粉 追 λ.

喜坚能

新嘉坡完全に孤立化

一般の抵抗を排しわが精鋭OOに敵前上陸敢行

制語を賜はる

臨時議會ける閉院式

皇國に身を挺せよ

總督官邸に爆弾命中

症應適

英側全面的敗退認む

京都改造靴販費所京都市上京區紫野十二功町十二

ノラ地境を完全制壓 陸海緊密協力下猛進

三時)帝國陸軍都隊は各方面に兵力の抵抗を撃碎しつゝあり、昨十七日までにの抵抗を撃碎しつゝ進撃を續行し戦がに進展しつゝあり、昨十七日までにの抵抗を撃砕しつゝあり、昨十七日までにの抵抗を撃がした。

時の録音

た化學療法期である。 と化學構造の異った、最も進步し 【包 接】 ・ 10年 五0年 ・ 10年 五0年 ・ 100年 五0年 ・ 100年 五0年

感切の節は直接木肚へ仰照音を乞よ各地類席に販賣す。 社會式株藥製本日大 三阿修道盔束市极大



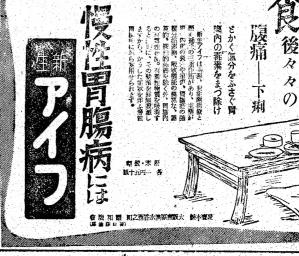


後々々の

際内の葬業をまづ除け どかく気分をふさぐ胃

無事でイブは古郷、野能商治療と 原ので、大学の一部に用があり、主要が 更一のについる。公会が一つ、国際の一般では、 変がに関する。 をといった。 では、その発表を知知変素し をといった。 では、その発表を知知変素し をといった。 では、その発表を知知変素し をといった。 では、その発表を知知変素し をといった。 では、その発表を知知変素し のでは、その発表を知知変素し をいった。 では、その発表を知知変素し のでは、 でいる。 では、 でいる。 會 额 和 觀 即之西谷水海延英歐大 餘本寶夏 海 編 年 日 谷)





光園では縁敗の質化さ

説一躍となって征戦と 正月用品は心配ない

億六千萬圓

柳秋级上

黑豆、數子等もポツ

亦誠の弾

い安の料廢保

13

一キビれば自己くなる

音飼料 (關級)

滑 化 不 及 類 秘 母 愛 遊 意 滋 不 不 及 類 秘 母 愛 疑 强 数 不 本格は上別の諸様に **第**。心性。記述版版 fo

用總督が奏上する宣戦の祝文

神宮に谺す宣戦奉告祭

嚴な奉告祭

一回 腸の掃除を



>1-

150歲 ¥ 1.50

> 設を拜謝し此段謹告仕候 士政候に付茲に生前の御厚 大田午後八時三十八分死 大田年後八時三十八分死 大魔寺に於て相營可申候追て告別式は十九日午後三時水原

水层部水原包大坪町三

代製 寺 寺

澤澤 村

村 建 太 耶 正 耶



中野は美雄・齋藤田、







◎鰻魚ヤツノの精

で軍國奉公司人會決議

汗の結晶を献金

在下關半島人の赤訯

Ú 業 最

員の赤心京城府廳職

は今月質臭も飾ったことで

名も本

一總力會

本町一丁目の間店員が修鰲鍛錬

各店主店員が一丸

自肅お布れ

油香田代子

明るさ12割 置等には少くとも 150ルクスの 明るさが必要です此の形態なら

明 證 格 規 省 務 內 (品用御獎推) 無 防 營 各 編 官 緒 · 沒 海 實驗開始發表 **吳嬋消火捕獲器出現**

東宝 3

底な

流

談尉大田武

三十分しつぶ築

何者も阻み得ぬ皇軍の進撃

英の地步

早くき販賣停止

る、英國が自己防衛のために使は

三十九萬二千八百四十七圓八十錢也

女醫の記錄

陸軍省へ=

変國官吏號 献納運動

「酸は、主として影響下機能 優雅胜手が乗つてゐて、優方感酸酸であるが、とゝでい「て、陳樹者のほかに低密者、

海軍と航空四

かなり大変な形で関であっ一度もせに順べし鑑や師

注射液〇・一點〇・五兆一・〇然の各種健 潤丁売錠・当場 100錠・当場で値

賣發新邊田 ・高南卓伝則川内らず安倒です。 ・等に、内囚的に活致適切に養い、 が成力を加へたと質問され、然 が成力を加へたと質問され、然 が成力を加へたと質問され、然 が成力を加へたと質問され、然



Sand Market





吉川英治作 [686] 脳の小動脈が弱ると が見なってが破裂する 血壓の高低も關係はするが

病原ふる血が収れるか ではどうしたら

動悸・手足夢が血壓高き人頭頭・耳鳴り・肩凝り・息切れ 野かた就らかなものですが、のは常然でありませう。そして其の感じ、無間酸いする質のやうに難力、て其の中を説れる間液の彫りが自然高く、果間酸は、する質のやうに難力、て其の中を説れる間液の彫りが自然高く 先づ血液に御注意上 他の大きな原因とは

の も 美 容 に

第一條件! 第一條件! 」 第一條件! 」 第一條件! 」 かる東京県一です。ところが変米のタリームや化 乗水には、このマオをひきしめ、毛孔を織りな作 乗水には、このマオをひきしめ、毛孔を織りる作 を関いていた。一般である。 を関いていた。一般である。 を関いていた。一般である。 を関いていた。一般である。 を関いていた。一般である。 を関いていた。一般である。 を関いていた。一般である。 を関いていた。一般である。 を関いていた。 を関いな、 を関いな、 を関いな、 を関いな、 を関いな、 を関いな を

.

蕊

IIL

くる

